

2020年4月8日

倫理委員会開催に関するご報告

一般社団法人日本化粧品検定協会

代表理事 小西さやか

先般、当協会が実施しておりました、日本化粧品検定への無料招待企画及び当協会の広報PR活動に関しまして、多大なるご心配とご迷惑をおかけ致しましたこと、深くお詫び申し上げます。

当該問題について、当協会は、2020年2月、第三者のみで構成される倫理委員会を設置し、同年3月13日に開催致しましたのでご報告いたします。

議事録は別添の通りでございます。

本件により、ご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

当協会としましては、倫理委員会からの指摘事項を厳粛かつ真摯に受け止め、再発防止や必要な改革と信頼回復に協会一丸となり、全力を尽くして参ります。

以 上

倫理委員会 議事録

実施日：2020年3月13日 16:00～

実施場所：日本化粧品検定協会 会議室

【参加メンバー】

委員長 高柳孔明 [弁護士] (リーガルキュレート総合法律事務所)

委員 棟田響 [公認会計士] (棟田響公認会計士事務所)

委員 前菌利大 [コンサルタント] (デジタル・クライシス総合研究所)

参考人 日本化粧品検定協会 小西さやか

参考人 日本化粧品検定協会 広報室室長

【アジェンダ】

- ① 一連の広報活動の件について振り返り・検証・改善
- ② 試験運営の不正に関する調査

【議事録】

① 一連の広報活動の件についての振り返り

一連の騒動について、問題はWOMJガイドラインに則った運用ができていなかったという点であり、今後の運用について倫理委員会より提言。

・WOMJガイドラインに則った運用について

2月20日に発表したりリリースの通り、今回の問題はガイドラインを遵守した広報PR施策を取れていなかったことであり、広報PR関連の業務に従事する面々がそのガイドラインを認識できておらず、定期的な検証機会を設けていなかった。

【対策】

・インフルエンサーを対象とした無料招待キャンペーンの中止。今後、第三者の参加を促す企画については、ガイドラインと照合の上で実施。

・倫理委員会による全ての広報PR施策の検証(3月13日・同倫理委員会内で実施)
今後、定期的に倫理委員会内で検証。

② 試験運営の不正に関する調査

検定試験において不正が行われたか否かについて聞き取り調査を実施。また、合否の操作な

ど不正が行われたのではないかとの指摘については、採点および合否通知発送業務の委託先である日本通信紙株式会社に対し、採点への協会の関与の有無を照会。「合否の判定は、日本化粧品検定協会に属する理事並びに職員の介在による不正はなく、合格点および解答の成否においてのみ実施したことを保証する」との回答を受領。協会への聞き取り調査および日本通信紙株式会社からの回答書を照らし合わせた結果、不正は行われていなかったと判断することが妥当と言える。